

2022年 9月13日



高校生による学校の魅力発信動画コンテスト 「YouTube甲子園2022夏」 結果発表！ — ウンパルンパやごっこ倶楽部も特別審査員として参加 —

<https://youtu.be/qBxhMVBxPwE>

菅公学生服株式会社のグループ会社で、生きる力を育む「ひとづくり」で豊かな未来社会の実現を目指すカンコーマナボネクト株式会社(本社:岡山市北区駅元町 社長:曾山 紀浩)は、この度、高校生を対象とした動画コンテスト「YouTube甲子園2022夏」を開催いたしました。全国70校115チームのご応募をいただいた中から、受賞作品を発表いたします。生徒の主体的な活動の場の創出を目的にスタートした大会も今回で4回目。今後は高校生のクリエイティブな考えのアウトプット先を代表するような大会を目指してまいります。



YouTube甲子園とは、生徒自身が企画・準備・撮影・編集の全てを行うYouTube動画を制作し、生徒目線のリアルな学校の魅力を発信するコンテストです。コロナ禍でさまざまな学校行事が制限される中、生徒自身が楽しみ、主体的に活動できる場の創出、そして生徒の思い出になるような大会になればと思い昨年開催しております。

第4回目となる今回のテーマは「コラボ」。高校生がさまざま企業や団体とのコラボを実施した動画も多数見られ、高校生の行動力と発想力が存分に発揮されていました。

9月13日(火)16:30~YouTube甲子園公式YouTubeチャンネルにて、プレミアム配信として受賞チームの結果発表を行っております。動画内では、特別審査員として参加いただいたインフルエンサーのウンパルンパさん、ごっこ倶楽部さんからのコメントもご覧いただけます。

<https://youtu.be/qBxhMVBxPwE>

■YouTube甲子園2022夏 結果

【企画動画部門】

金賞:東京都立芦花高等学校(東京)

銀賞:日本文理大学附属高等学校(大分)／宇都宮短期大学附属高等学校(栃木)

銅賞:聖ヨゼフ学園 日星高等学校(京都)／滝川第二高等学校(兵庫)／

福岡工業大学附属城東高等学校(福岡)

企画動画部門応募動画:

https://www.youtube.com/playlist?list=PLWz1cKD0hsnSE1aQvbTeIGW-ag_sT94kN

【ショートドラマ部門】

グランプリ:東京都立芦花高等学校(東京)

脚本賞:滝川第二高等学校(兵庫)

編集賞:専修学校クラーク高等学校 大阪梅田校(大阪)

ショートドラマ部門応募動画:

https://www.youtube.com/playlist?list=PLWz1cKD0hsnSn6cToM_PNJBD5uBRtadn

■受賞作品(企画動画部門)

- ・金賞 東京都立芦花高等学校(東京) <https://youtu.be/bW0PVHMLdTU>
【青春】生徒から募集した青春を実際にやってみたら最高の夏になった。



<特別審査員(ウンパルンパ)コメント>

タイトルにもある「青春」。この動画を見て本当に高校生に戻りたい！と思わせてくれる作品でした。編集、企画含め、「コラボ」のテーマ通り先生にも全力で参加してもらっている中で、一つ一つの遊び要素が視聴者を離さない工夫がされていました。YouTube甲子園という大会の中で全てが完璧な作品となっています。

<生徒コメント>

私達なりにコラボというテーマの意図を汲み取り噛み砕いて、芦花高校をアピール出来る方法を部員みんなで考えて何度も会議を重ねました。最終的に私たちが思う芦花高校の魅力は先生と生徒との距離感だったり、生徒がやりたいと思う事を尊重して応援してくれたり、一緒に協力してくれるという所、ということで、それが1番伝わりやすい企画という事を前提にみんなで最初から練り直しました。

- ・銀賞 日本文理大学附属高等学校(大分) <https://youtu.be/vozvozt1TZE>
【神回?】チア未経験の3人が3日間チア部に入部したら…まさかの結果に…?



<特別審査員コメント>

未経験者がチアに調整するといった企画が抜群に面白いものとなっています。編集のクオリティも本当に高校生がしているものなのか！？と思わせる作品です。また、体験入部だけで終わらずきちんとしたゴール設定のもと、メッセージ性、ストーリー性がしっかりと構成された動画となっています。3人の演者力も必見です！

- ・銀賞 宇都宮短期大学附属高等学校(栃木) <https://youtu.be/kG3wJgcivE>
学校PR動画2022



<特別審査員コメント>

今の若者言葉を使うならレベチな作品。YouTubeのレベルの域を超えるようなカット割り、画角により非常に完成度の高い動画となっています。撮影の仕方も学校にあるものをうまく活用した高校生らしさ全開となっています。見ている人たちを高校生に戻りたいと思わせる銀賞にふさわしい作品です。

- ・銅賞 聖ヨゼフ学園 日星高等学校(京都) <https://youtu.be/u9LbDGRsRqc>
【キャンプ】もらったものだけでキャンプやってみた！地域の方、先生方に色々なものをいただきました！



<特別審査員コメント>
第一回大会から参加している常連校が2大会ぶりの受賞となりました。先生自身がYouTubeに対して前向きに協力してくれている姿は今の時代を物語っている作品となっています。普段からYouTubeの活動を行っている部活でもあり、YouTube甲子園のお手本のような作品となっております。

- ・銅賞 滝川第二高等学校(兵庫) <https://youtu.be/yJ9hngyRiIq>
滝川第二サッカー部を数の力でボコボコにしようとしてみた。



<特別審査員コメント>
企画がとにかく面白い作品でした。サッカー強豪校で有名な滝二サッカー部1人に対して素人10人で対戦するといったサッカーを知らない人からしても面白い内容となっています。司会の子も元気に進行し、ナレーションも上手く取り入れることで「コラボ」というテーマを上手に活用した動画でした。

- ・銅賞 福岡工業大学附属城東高等学校(福岡) <https://youtu.be/YK57RkWpOf8>
この謎解けるかな？全員集合！



<特別審査員コメント>
編集のレベルが非常に高い作品でした。冒頭のテレビCMのようなカウントダウンで一気に圧倒されました。また、細かいところまで動画づくりにこだわっていたところが視聴者のことをしっかりと考えており飽きさせない工夫がたくさん散りばめられていました。

■受賞作品(ショートドラマ部門)

今回から新設したショートドラマ部門。短い時間でいかに表現するかを試行錯誤して動画作成を行っていただきました。特別審査員としてショートドラマクリエイターとしてご活躍されている「ごっこ倶楽部」にも参加いただきました。グランプリ受賞チームには、ごっこ倶楽部とコラボ一緒に撮影する権利が贈呈されます。

- ・グランプリ 東京都立芦花高等学校(東京)
青春「 」
<https://youtu.be/qvPTokWH-g>

<ごっこ倶楽部コメント>

飽きさせないためのカット割りや、効果音を入れるなど、編集のこだわりが伝わってきました。何より…普通に感動しました。若い高校生の熱い思いがストレートに届いてきました。

- ・脚本賞 滝川第二高等学校(兵庫)
江口くんは滝二を推したい！
<https://youtu.be/ty9gpjq2lEI>
- ・編集賞 専修学校クラーク高等学校 大阪梅田校(大阪)
4人～死人～ 第1話
<https://youtu.be/qVKHr21wE9E>



■「YouTube甲子園2022夏」実施概要

エントリー期間:2022年5月10日(火)～2022年8月16日(火)

応募期間:2022年6月1日(水)～2022年8月25日(木) ※コロナの影響から2日間延長

結果発表:2022年9月13日(火)

応募資格:高校生(国内外問わず)/チームの人数制限なし

テーマ:コラボ

審査方法:審査員(事務局、特別審査員、カンコー委員会)による採点

部門:企画動画部門/ショートドラマ部門

【動画部門】

金賞(1組):金の盾/YouTube企画券10万円分

銀賞(2組):銀の盾/YouTube企画券5万円分

銅賞(3組):銅の盾

【ショートドラマ部門】

グランプリ:金のグランプリ盾/ごっこ倶楽部とのコラボ券

脚本賞:銀の脚本盾

編集賞:銀の編集盾

主催:カンコーマナボネクト株式会社 School YouTube運営事務局

ゴールドスポンサー:株式会社ジンジブ

パートナー協賛:ヴェイス・ミュージック・パブリッシング株式会社

応援協賛:東亜紡織株式会社/東レ株式会社/株式会社ナカヒロ/株式会社中国銀行

後援:菅公学生服株式会社

公式サイト:<https://k-manabonect.co.jp/yk2022/>

■菅公学生服株式会社とは

1854年(安政元年)創業。学校制服・体操服に代表される「ものづくり」と、子どもたちが未来を生きるために必要な力を育む「ひとづくり」を通じて、子どもたちと学校を取り巻くさまざまな社会課題を解決するスクールソリューションカンパニー。

公式サイト:<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/>

■カンコーマナボネクト株式会社とは

未来を担う子どもたち一人ひとりが自分のキャリアをイメージし、自分らしいやり方で未来を切り開くことができるよう「未来を生き抜く人づくり」を目的に活動。地域社会や企業との連携を図り、社会全体で人材育成教育を支える仕組みづくりにチャレンジしています。

「ひと」と「ひと」をつなぎ、その先へ。

「ひと」と「ひと」それぞれの「価値」を学びでつないで新たな価値を創り出し、その先にある豊かな社会の実現を目指したいという想いを社名に込めています。 ※「学ぼう」「コネクト＝つなぐ」の造語

公式サイト:<https://k-manabonect.co.jp/>